北海道伊達緑丘高等学校における政治的教養を育む教育

１　公民科の授業において

・主権者教育は３年必履修科目である「政治経済」で主に実施している。

・平成 31 年度の統一地方選は、日程的に間に合わなかったが、参議院議員選挙に向けては、年間計画を前倒しする形で実施した。

・初めての選挙であり不安を持っていた生徒も多かったため、選挙制度等だけではなく、実際の投票方法等についても詳しくガイダンスを行った。

・令和元年度の参議院議員選挙における本校の投票率は、75.0%となり、全国的にみても世代的にみても高く、満足のいく結果となった。

・保護者をはじめとする既選挙権保持者の投票行動が、高校生の投票行動に大きな影響を与えていることも窺え、今後の課題であると考える。

２　参議院議員選挙ボランティアの実施

・伊達市選挙管理委員会・洞爺湖町選挙管理委員会と協力して、投票日当日の選挙事務のボランティアに参加する。

・有志を募り、２自治体併せてのべ１５名の参加希望があり、投票日当日に市の職員と受付業務、投票用紙の交付業務等を行った。